

# 思いやり

第 3 号

〔発行日〕  
令和元年 5月28日  
〔発行所〕  
名農高生徒指導部



## いよいよ高校総体

いよいよ「一瞬 一秒 勝利の元へ」のスローガンのもと、第72回青森県高等学校総合体育大会が始まります。

スポーツの世界は『力』が全てです。力と言ってもただパワーが強ければ、それで良いという訳でもありません。「気力」「体力」「知力」「技術力」等の自分の持っているパワーをどこで使うのかを考えて、ここ一番の時にその力を発揮するのです。そのためには、相手の状況を観察し、自分の持っている力を最大限にまで高める集中力も必要です。

私もバスケットボールをやっていました。ここ一番の時、特に「シュート」には、自分の持っている全ての力を集中させました。せっかくディフェンスを抜いてノーマークになった時に、大切なシュートを外しては、チームのみんなに申し訳が立ちません。そのシュートにつなげるために、味方が苦勞してインターセプトやりバウンドを取ってくれたことに報いたい。という思いがありました。けれども、自分ばかりではなく、他のチームメイトも結構ミスがあり、負けたこともありましたが、ミスは、相手も同じです。いかに切り替えるかです！

多くのスポーツは「切り替え」の競技です。いつまでもミスを引きずってもいられません。しっかり「切り替え」てその場面に挑まなければなりません。しかし、実際に試合をしてみると、「アレっ、それほどでもないような気がする！」と感じたことがありますか。意外といい試合に持って行ける時がありますよ。試合中は、何が起こるか、分かりません。「気力」「体力」「技術力」そして「運？」を思う存分発揮して、悔いの残らない試合をしてほしいと思います。

試合は、「終了ブザー（ホイッスル）」が鳴るまで、終わりではありません。諦めたら、そこで試合終了ですよ。」

『フレッ・フレッ・ナ・ノ・ウ!!・FIGHT!!・FIGHT!!・NA・NO・U!!!』



身だしなみ



## 『第2回目の服装・容儀指導』が行われました。

5月23日（木）中間考査終了後に、第2回目の服装・容儀指導が行われました。全体で84人が再検査ということになりました。

服装・容儀指導をなぜやるのか？については、第1号でお知らせしました。今回の容儀指導では、残念ながら、同じことを繰り返している人もいました。1年生は、本格的な容儀指導は、初めてだと思いますが、事前に伝えていたと思いますし、教室には服装容儀のチェック事項を掲示していると思います。些細なことかもしれませんが、その些細なルールを守るという気持ちは、「自分を律する」行動にもつながります。「自分の身の回りのことを、自分でできること」これが大人になるための条件でもあると思います。

「これくらい、大丈夫だろう」がどんどん膨れ上がり、「これくらい大したことない」と思うようになり、「ルールを守る」という意識に欠けてくるのです。

自分自身を「しっかりと律することができる大人」を目指して学習して行きましょう。

生徒の本分

勉強する・学校を休まない・きまりを守る